

未来設計コンペティション 第1回

テーマ:新型コロナウイルス禍について今後、自分たちが出来る事は何かと思いますか？

新しい経済モデルの模索

村上市、岩船郡地域ではまだ新型コロナウイルス感染者が出ていませんが、もし1番目の感染者が報じられたとしても、いじめや誹謗中傷はしない。

もし村上市で感染者が出た時に、誹謗中傷等をしないこと

外から人が来ない今、『私たちが地元のことをよく知る』ことで、街の人全体で一体感を持って迎えることができるかも

意識して地元でお金を落とすこと。

人を、お金を地域で回すこと。

市に訴える

必要に応じてマスクをする

薬が出来るまでは、あなどらずに警戒しながら生活したほうが良いと思う

わからない

今まで以上に可能な範囲で地元でお金を使うようにしたい。

分からない

市や政治家へ要望を言う

質素節約

支出の見直し

税金の使い道を明確にしてもらう行動

人にうつさない行動をする

積極的に外食へ行く！

節度を守って行動し、感染をしない・広げない。収束に向かうよう努める

市外からの集客の為に、観光業を盛り上げる。

最低限マナーを守ること

できるだけ地元で消費をして村上市全体の活性を促す。

コロナウィルス対策！ 地域の魅力発信

第2波、第3波の感染に気をつけて、これまでの行動を徐々に変えて、生活すること。

助け合いの精神向上

新たな生活様式の徹底を図りながら、市内での消費活動に対して意識的に取り組んでいくために、官民協働のSNS等による広報活動に加えて長期的な周知活動。

また、夏の繁忙期に向けたクラウドファンディングを活用した旧工藝の郷を利用した交流人口の増加事業(海の家や村上市のPRブース等)

風評被害を出さない

村上来てくれた人を笑顔で歓迎すること

村上の人たちを若い自分たちから元気にすること、みんなが元気で明るい街にすること

アフターコロナを考慮したオンライン系の強化

最低限の自粛

ソーシャルディスタンスを保つ

自分がやれることを意識を高くもってやる

感染拡大防止につとめる。

医療従事者や感染者への差別をしない。

新型ウィルスの流行前の行動を率先してやっていきます！そんな私を見てください聞いてください

できることは協力したい

SNSやウェブを活用した飲食店や観光事業者の努力とは裏腹な「厳しい業績」がある一方、同業でもSNS等を活用せずに業績を上げている事業者がある事実を直視し、その要因を探って産業全体で共有できるような地域経済の分析と研究を進め、業務研鑽と尊厳を守った変化をうながして「軸足のブレない小規模事業者」がたくさん生まれるような後押しをしたい。

何ができるのか教えてください。

街の元気づくり 活性化 経済を回す

みだりに首都圏に行かない事。

ウイルス対応から言えば、当然自分や家族や仲間を守るため、感染に気をつける生活や就業を必ず強いられるのでソーシャルディスタンスの確保や手洗いうがい、殺菌の徹底ですね。

地域貢献で言えば、仲間意識を持って助け合う心の向上。具体的に言えば、沢山のアイデアがあると思う。それを持ち寄って実行すること。

YEGの先日の活動は感動した。沢山の勇気を俺も、飲食店ももらった。

マイクロツーリズム、地域循環の活性化

お金をまわす

ENJOY LOCAL！外に行けない時こそ地元を楽しみ尽くす！今までは素通りしていた景色を立ち止まり探索、今までは見るのが無かった地元の歴史を学んでみる。地元にある日本一、世界一を見つけて誇りあるふるさとを再発見する。

まずは自分の現状を動かし、変えること。変心。変身。変親。

生活困窮者(特にニートの人たち)を社会の一員として迎え受けるため会話の場所を提供したい。

コロナとはこれから常に付き合っていかなければならないと思う。ならば最低限の対策(マスク、消毒、三密回避等)は行った上で生活を送っていかなければならない。